

中国・湛江市による友好都市・友好校提携の希望

2010年8月

在広州総領事館

今般、中国広東省にある湛江市から当館に対し、日本の都市との友好提携、及び同市の第一中学校（注：中国の中学は我が国の中学と高校を合わせたもの。）と日本の学校との友好提携を希望する旨の連絡がありました。以下、湛江市からの紹介文です。ご興味を持たれた自治体・学校関係者の方は、是非外務省地方連携推進室までご連絡ください。

1, 湛江市紹介

湛江市は中国大陸の最南端、広東省西南部の雷州半島に位置しており、広東省・広西チワン族自治区・海南省の三省に接している。市の全面積は1.25万平方キロメートルあり、総人口は745万人である。現在、3市、2県、4区、国家級経済技術開発区1つと6の省級経済開発区（試験区、工業区）を統轄している。湛江市は全国で最初に対外開放された沿海都市の一つであり、全国総合力ベスト100都市、中国優秀観光都市、国家庭園都市となっている。

(1) 恵まれた条件を持つ港町

湛江港は広東省西部と環北部湾岸地区における最も大きな水深の深い天然の良港で、港湾は広く、海岸線も長い。また、防波堤もしっかりしており、波は穏やかで水深は深く、一年中凍結することはない。すでに30万トン級の船舶が通行できる航路が建設されている。30万トン級の船舶が接岸できる石油埠頭と20万トン級の船舶が接岸できる鉄鉱石埠頭もある。また、直接運航している国家・地域は100余りあり、地域レベルの海運・物流センターの規模を備えている。

2006年「全国沿海港湾配置計画」で湛江港は我が国南西沿海地区港湾群の主要港湾と定められ、湛江港は物流の中核というだけでなく、国際的な原油、鉄鉱石産地に最も近いという海運上の利点により、競争的優位を占め、港に隣接した重化学工業地区の設置場所としては最も適したところとなっている。湛江港以外に雷州半島沿岸にはいくつか中小の良港があり、湛江港と相互補完的な港湾群を形成している。2009年の湛江全市の年間貨物取扱量は1.26億トン余りで、5年連続毎年1000トン以上というかなり速いペースで貨物取扱量は増加している。

(2) 交通の要衝

湛江は我が国の南の玄関口であり、東と西、南と北の橋渡しとなり、国内外を結ぶ要衝に位置している。国内外の地域経済の協力と発展が加速する情勢の下、湛江の地理的優位

性がより大きな領域に拡大していることはあらゆる分野で際だっている。汎珠江デルタ地帯の地域経済の協力の深化に伴って、湛江はすでに珠江デルタの辺縁から汎珠江デルタの中心地帯へと変貌した。すなわち西部大開発の推進に伴い、湛江は南西部の輸出入の主要なルートとしての役割を発揮するようになる。中国—アセアン自由貿易圏の建設にしたがい、湛江は我が国とアセアン各国とを結ぶ最も優れた海上の拠点となっている。グローバル経済の一体化の進行過程が加速する中、湛江は我が国大陸と東南アジア、アフリカ、欧州、オセアニアとの最短航路となる港湾都市として、大いなる発展のチャンスを迎えている。湛江は海運、鉄道、幹線道路、航空、パイプラインといった総合的な運輸システムを有しており、全国海上輸送の中軸港であり、また、国内 45 の幹線道路輸送の中核の一つであり、さらに省内 4 の鉄道輸送の基軸の一つである。発達した多面的な交通の優位性と中軸地点としての優位性により、湛江港の経済的な後背地はすでに伝統的な南西地域から更に広大な中西部地域へと拡大した。湛江はそれにより広東省西部及び南西地区の重要な物流センターとなり、雑誌『フォーブス』により 3 年連続で中国大陸で最も優れた商業都市及び最も物流に適した 25 の都市に選ばれ、さらに世界傑出華僑商会と中国商業連合会より「中国 100 の優れた投資都市」に選ばれた。

(3) 資源豊富な熱帯臨海都市

湛江は豊富な熱帯・亜熱帯作物資源を有しており、我が国の重要なサトウキビ、果物、野菜の生産地帯である。また、最大のユーカリ、サイザル麻など熱帯作物の生産地帯であり、さらに、パイナップル、バナナ、マンゴー、オレンジの里として有名である。湛江は三方が海に面している。30 の島があり、海岸線は 1556 キロもの長さがある。海洋資源は非常に豊富で、水産物の生産量は何年もにわたり広東省第一位であり、国内最大のコウライエビの取引センターと加工輸出拠点がある。また、国内最大の海水真珠養殖拠点となっている。国内ではすでに 33 種類の地下鉱物資源、155 か所の鉱脈が発見されている。最も開発価値があるのは珪藻土、ベントナイト、泥炭土、高嶺土などの 4 資源であり、湛江を臨む南海北部大陸棚盆地は世界四大海洋ガス田の密集地帯の一つである。高度に開発された地域と比べると、湛江は相対的に豊富な土地資源と労働力資源を有しており、将来の発展の優位性を有していることは明らかである。この他に湛江はさらに世界に二つ、中国に一つしかないマール湖（一回の火山爆発により形成された円形火口湖）を有する湖光岩世界地質公園と火山峡谷群、及び我が国で面積最大のマングローブ林の国家級自然保護区を有し、近海面積最大のサンゴの自然保護区と海上の国宝と言われる中国白イルカの 2 大個体群生息地などを有している。

(4) 新興湾岸工業都市

数年来実施してきた「工業立市、港湾立市、エコシティ建設」の発展戦略を経て、工業化の進行過程は加速し、市全体で第二産業の GDP に占める比率はすでに 47.8% に達してい

る。港湾隣接型の石油化学産業、近海のガス・油田開発、電力、製紙、農水産品加工、飼料、紡績、電気機械の 8 大主要産業、その中でも特に石油化学産業、エネルギー等の重化学工業の発展の速度は速く、全市の経済成長を牽引する強力な梃子になっている。家電製造業の主要製品である炊飯器は国内生産量の約 80%、世界全体では約 50%を占め、年間生産高は 50 億元を超えている。新興海洋産業の発展も比較的速く、規模は広州、深圳に次いで広東省第三位である。2006 年に中央政府は島嶼部鉅区の 10 平方キロメートルを湛江経済技術開発区として認可し、さらに広東省湛江湾岸産業パークの建設を認可した。開発用地面積は 543 ヘクタールあり、湛江の新たな湾岸工業発展の重要な基盤となっている。2009 年に市全体の工業生産高は初めて 1156.17 億元を突破した。これは湛江の工業が新たな段階への一步を踏み出したことを示している。2008 年、中央政府は総投資額 700 億元、関連産業の総投資額も 700 億元を超える 1000 万吨鉄鋼プロジェクトを認可した。2009 年 10 月、広東省と湛江市は前後して中国石化及びクウェート石油会社と詳細な覚書を締結し、中・クウェート広東石油精製一体化プロジェクトは新たな発展段階に入った。それとは別に、湛江はさらに東興の 500 万吨石油精製工場と 2 基の出力 120 万キロワットの火力発電所を有している。

(5) 有力な科学教育都市

湛江は 5 つの大学を有し、7 万人の大学生がいる。国内 3 カ所の海洋大学の一つである広東海洋大学、広東医学院及び湛江師範大学の 3 つの全日制大学があり、大学の数では省内では広州市の次に多く、各種専門技術者約 9 万人、科学研究開発機構 48 カ所、工学技術研究開発センター 5 カ所、技術中間試験場 2 カ所を有している。各地方の外地企業からの投資と発展のために十分な人材と知識を提供している。

(6) すばらしい環境を有するエコシティ

湛江は全国重点環境保護都市の一つであり、また国家級エコモデル試験都市である。生態系の完全性の保持は比較的高い水準にあり、大気環境の質は常に良好な状態を保っている。湛江の広大な農村部には、省内外で知名度の高い多くの「エコ文明村」があり、エコ観光の名所となっている。中国大陸最南端の海岸都市として、熱帯風景、島、砂浜、文化財・遺跡、ダム、温泉といった観光資源を有している。海水浴場と景観レジャー区域の海岸総延長は約 150 キロあり、気候は心地よく、海岸の多くは真っ白できめの細かい砂浜で、海水は紺碧で透き通っており、海水浴場としてすばらしい場所である。また、約 13300 アールの中国最大の近海珊瑚礁がある。2003 年以来都市環境総合クオリティは数年連続で全国環境保護重点都市第三位である。市内の市街地緑化率は 45.7%に達し、これは全国重点都市第四位であり、名実共に「フラワーガーデンシティ」となっている。2007 年、湛江市は全国「十大レジャー都市」の一つに選ばれ、2010 年には「中国海鮮美食の都」に選ばれた。

2, 湛江一中紹介

広東湛江第一中学は、美しい景色により「一寸の山河は一寸の金の如し」という言葉から名付けられた「寸金橋」のたもとにある。悠久の歴史があり「南路学府」と呼ばれ誉れが高い。学校は1937年に創立され、その前身は培才中学である。1952年に培才中学と当時の市立一中、河賛中学が合併し、湛江一中と命名された。学校運営成績が際だって優れていたことから、その名は広東省西部にとどろき、早くも1958年に湛江第一中学は広東省重点中学に指定された。長年に渡る学校運営は終始正しい学校運営方針を維持し、先進的な学校運営理念に従い、優れた人材を育成しており、教育の質は常に省市内で上位に位置している。学校は現在、広東省重点中学、広東省一級学校、広東省国家級モデル普通高校、広東省普通高校教育水準優秀校、広東省先進集団、広東省文明单位、広東省グリーン学校、広東省高校新課程改革モデル校、全国活発な高校生活活動先進学校、全国第一期小中高現代教育技術実験学校、全国キャンパスネットモデル学校、全国精神文明建設先進単位、全国中華伝統美德教育実験基地になっている。

湛江一中は市内の金鷄嶺上にあり、占有面積は102382平方メートルである。学校は山河に囲まれ、四季を通じて緑の木々が高くそびえ立っている。校内の意匠を凝らしたあずまやと回廊、人文塑像、励志奇石、文化校道は広東省西部の名門校としての優雅な風格を十分に示している。完璧な施設、優雅な環境は人を育てるのにすばらしい条件を生み出している。近年、学校は積極的に「人を以て本となす、調和のとれた発展、傑出した人材の育成」という先進的な学校運営理念を実践し、深い素養・道徳教育を展開し、教育成績を不断に高め、科目別コンクールと大学入試の成績は常に省内の上位を占めている。学校運営規模を拡大するために、積極的にグループ化成長戦略を採用し、重点学校から優れた教育ブランドへの転換を実現し、3つの分校の創設に成功した。それにより、社会のために大量の優れた学位を提供し、社会の幅広い賞賛を得ている。

この他、湛江一中の科目別コンクールでの成績はめざましく、過去数年来のオリンピック成績は群を抜いている。また、文系科目の成績は常に光っており、科学技術系のコンクールでの成績もひとときわ優れている。さらに体育・芸術競技の勝利の知らせは引きも切らず伝わってきている。これら科目別コンクールでの優秀な成績と群を抜く大学入試成績は燦然と輝いている。獲得した賞であろうと入賞者の人数であろうと、いずれも省内トップクラスである。数年来、あわせて556人が各種のコンクールにおいて国家レベルの賞を獲得し、多くの学生がオリンピックでの優秀な成績により清華大学、北京大学などの名門大学に推薦入学している。湛江一中の学生は語学「新概念」、「語文報杯」等の全国高校生作文コンクールや、全国英語コンクールに参加しているが、入賞者数は市内でダントツである。全国青少年コンピューターロボット知識コンクール、全国「頭脳オリンピック」テレビ大会、全国船舶・飛行機大会、全省天文大会、「ハイアール杯」全国青少年科学技術創作大会において、湛江一中の学生は並みいる強敵を打ち負かして、すばらしい成績をあげて

いる。勞麗詩という学生は第 28 回オリンピックにおいて水泳ペア飛び込みで金メダルを獲得し、個人種目では 10 メートル飛び込みで銀メダルを獲得した。香港（国際）武術招待試合、国際舞踏大会、アジア太平洋明日のスターピアノコンクールなどハイレベルの体育・芸術大会においても、湛江一中の学生はすばらしい活躍を見せ、成績はひとときわ優れている。各学科の大会成績と入賞は、あたかも百花斉放のようであり、学校の「傑出した人材の育成」という学校運営理念の実践を裏づけている。